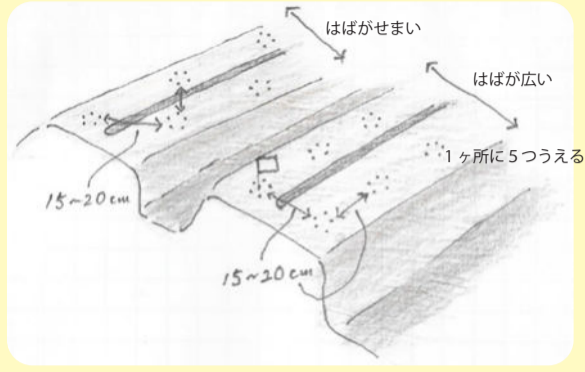


種植えのポイントは、ちゃんと芽がでる植え方となるべく多く大根を収穫できるよう工夫すること、その2点です。

下の2つの畝(うね)では、種(たね)のうえ方がちがいます。どこが、なぜ違いますか？



● ちゃんと芽が出るために

- ① 種をなぜ5つ植えますか？
- ② 種を植える穴の深さは？
- ③ 水はあげましたか？

● 大根を多く収穫するために

- ① 植える場所の間隔は？
- ② 予備の種はなぜ植えるの？

● 畝は何のためにあるの？

- ① 水はけがよくなります。
 - ② 大根の根が伸びやすい。
 - ③ 栽培作業がしやすくなります。
- その他にもあるかな？

水をやると種の中の芽が目をさします。

水は太陽の光によって栄養に変わります。



ところで、水をあげてよい時と減らしてもよい時があるのは本当ですか？

● 水やりのポイント

気温が高い9月ころは、たつぷりと水をあげます。大根が大きくなってきたら水をあげる回数を減らすと美味しい大根ができます。なぜでしょう？調べてみて！

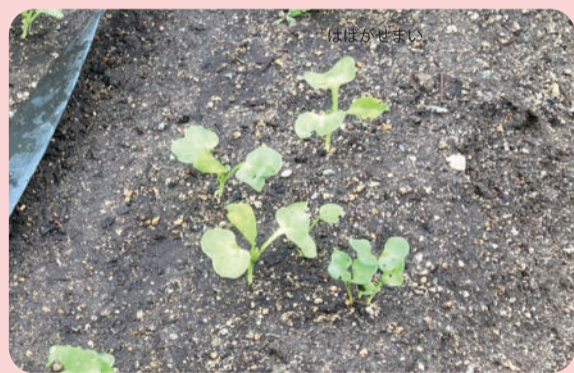
● いつ水やりをしますか？

- ① 雨の日もあげる
- ② 土が乾いたらあげる
- ③ 気温が高いお昼過ぎにあげる
- ④ 朝の涼しいうちにあげる



芽が出なかった場所に「追い種まき」を行います。植え方は、もう一度「種まき」のカードを見直しましょう。

右下の白の破線の丸の中は、追いつきをして一週間遅れて発芽した双葉です。



● どこに植えましょう？

- ① 最初に植えた5カ所のうち、芽がでなかった場所。
- ② 畝の中で芽がでていない、空いている場所に植えて、予備の大根を育てましょう。

● 調べてみよう。

野菜の種はまく時期(季節)が決まっています。秋に種をまく大根などは、発芽が1日遅れると収穫が1週間遅れると言われています。それは、なぜでしょうか？

双葉には、赤ちゃんにとつてのミルクのような役割があります。

根が育って、本葉が出てくるまでの栄養分です。

● 双葉と本葉

双葉と、双葉の次に出てくる本葉は形がどのように違うか観察してみよう。双葉は役割を終えると自然に枯れてしまいます。それまで大切にしましょう。

● 調べてみよう！

大根の双葉はお野菜としてお店でも売っています。「かいわれ大根」とよばれています。なぜ？

